

宇治田原町 議会だより

No. 73 2012.11.1



《目次》

- 9月定例会(議会基本条例制定)…………… 2P
- 決算委員会での審議…………… 5P
- 人事案件・補正した予算…………… 8P
- 8議員が町政を問う…………… 9P
- 常任委員会研修報告…………… 17P
- インタビュー(今西智津子さん)…………… 19P

一致で可決

議会基本条例は、地方自治の運営主体としてふさわしい議会に必要な基本事項を定めることにより、議会の活性化と充実を図り、住民に身近で信頼される議会を実現することを目的として平成24年9月7日に制定しました。平成25年4月1日施行に向け、今後も検討を重ねていきます。



平成24年第3回定例会は、9月7日から27日まで開催した。人事案件1件、補正予算4件、条例等2件が提案され、原案通り同意、可決した。また、平成23年度決算7議案については、監査委員を除く11名で決算特別委員会を設置し、慎重に審議した。さらに、議会基本条例を全会一致で可決し、それを受けて、一般質問を「一問一答」方式で試行。8人の議員が登壇し、活発な議論を展開した。



説明会で熱い議論

9月定例会で全会一致で可決・制定した宇治田原町議会基本条例の説明会を、10月3日午後7時より総合文化センター研修室において開催いたしました。

当日は、西谷議長のあいさつのあと、下岡委員長（議会活性化に関する特別委員会）が、本条例の制定に至るまでの経緯及び内容について説明をしました。

参加された住民の方との意見交換の場では、「活性化とは何をさすのか」、「住民の意見を反映する手段は」、「議員の仕事の自身が検証できるようにしてほしい」、「町長の反問権について」など、熱い質疑応答が交わされました。ご参加いただいたみなさんに厚く御礼申し上げます。

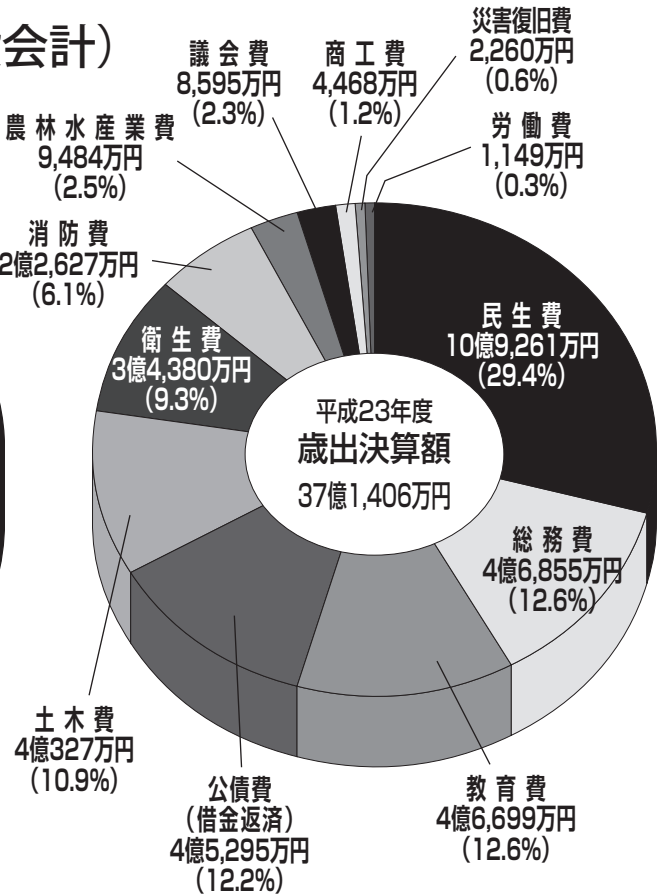
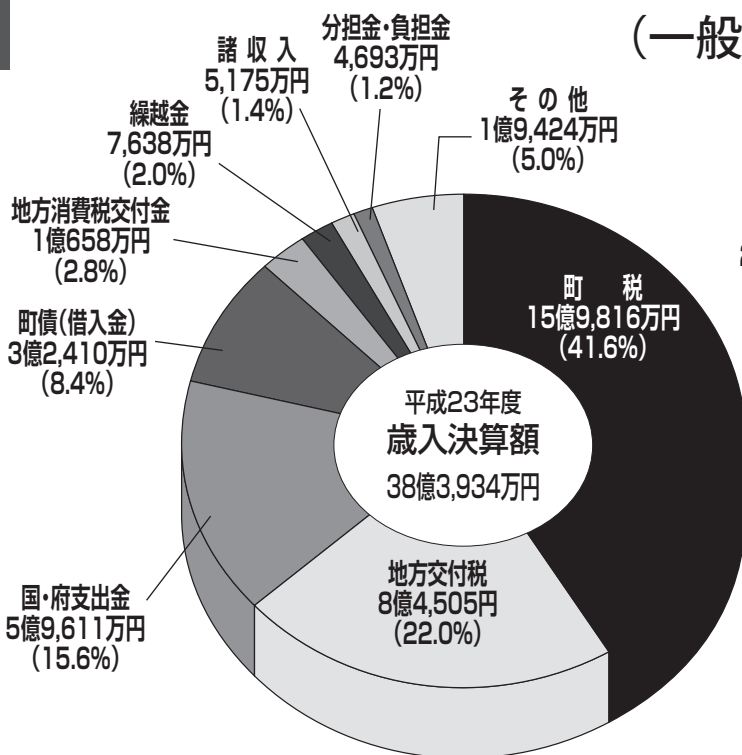
住民に開かれたより信頼される議会めざし

議会基本条例を全会

平成23年度 決算 2年連続の黒字に

9月定例会

(一般会計)



(千円以下切捨て) ※端数整理上、決算合計額と一致しません。

各会計の決算一覧

(千円以下切捨て)

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額	審議結果		
一般会計	38億3,934万円	37億1,406万円	1億2,528万円	認定 賛成9・反対2		
特別会計	国民健康保険	10億4,663万円	11億671万円	△6,008万円	認定 賛成9・反対2	
	後期高齢者医療	7,807万円	7,659万円	148万円	認定 賛成9・反対2	
	介護保険	保険事業勘定	6億7,017万円	6億6,764万円	253万円	認定 賛成全員
		介護サービス事業勘定	269万円	215万円	54万円	
	奥山田地区簡易水道事業	4,938万円	4,884万円	54万円	認定 賛成全員	
	公共下水道事業	5億1,231万円	5億929万円	302万円	認定 賛成全員	
水道事業会計	収益的	2億743万円	1億8,853万円	1,890万円	認定 賛成全員	
	資本的	3,210万円	1億1,595万円	△8,385万円		

平成23年度 実施した主な事業

主要町道新設改良	4,266 万円
橋りょう長寿命化修繕	2,723 万円
子どもの医療費無料化（拡充）	2,691 万円
太陽光発電設備、エコソーラーライト整備	1,230 万円
高校生通学費補助（拡充）	1,029 万円
住民体育館バリアフリー整備	629 万円



橋の長寿命化を実施（荒木）

文化センターに太陽光発電を整備

基金と町債残高の推移

(千円以下切捨て)

	H 19 年度	H 20 年度	H21 年度	H 22 年度	H23 年度
基金合計	24億9,908万円	23億7,290万円	23億 161万円	25億3,636万円	26億3,874万円
町債（借入）	41億7,184万円	40億9,286万円	40億4,054万円	40億7,288万円	40億 778万円

決算特別委員会の審査

決算特別委員会は、監査委員を除く11名で設置し、委員長に弦川孝治氏、副委員長に森山高広氏を選出し、審査した。

9月19日、決算特別委員会を開会し、一般会計、特別会計、水道事業会計について個別審査を行い、21日に、橋りょう長寿命化修繕事業、主要道路新設改良事業（三宮線



町道三宮線

道路新設工事）、住民体育館バリアフリー整備事業の現地調査を行った。その後、総括質疑に移り、それぞれの議案について認定し、閉会した。

決算審査意見書(要旨)

平成23年度一般会計や特別会計等の各会計の決算、財産、物品を照査・審査した結果、計数的に正確であり、予算執行の成果等各会計とも良好であると認める。また、現地調査についても審査した結果、事業の執行は適正であると認める。今後もより効率的な行財政運営のため、第4次行政改革大綱及び実施計画の着実な取り組みを進め、町税をはじめとする未収金については、引き続き一層の収納への努力を望む。今後第4次まちづくり総合計画に掲げる将来像「心をつなぎ、ともに創る 茶文化のまち」の実現に向け、なお一層の努力を期待する。

監査委員

総括

主な質疑

【質問】

平成23年度決算は2年

連続で黒字を達成した。

税収増が期待できない

中、行財政改革や今後の

税収・財見通しは。ま

た、シビアな予算計上を

【答弁】

実施し、より一層の執行率の向上を。

町税、地方交付税とも

に大幅な好転は見込め

ず、歳入面での期待は厳

しいが、健全財政を維持

していくために行財政改

革に職員一丸となって取

【質問】

財政健全化に取り組む

あまり、防災対策や減災

対策を怠ることはできな

い。時には大きな財政出

動も必要では。

【答弁】

財政健全化のみにとら

【質問】

今後の財見通し、平

成24年度予算の執行の見

通しは。

【答弁】

財政環境は非常に厳し

いが、必要などころは財

政出動を行い、住民の福

祉向上を図る政策に積極

的に取り組む。



住民体育館のトイレをバリアフリー化

り組む中で、企業誘致等、必要な財源確保に努める。住民ニーズを的確に反映し、必要額を十分に精査した予算計上に努める。

われることなく、防災・減災対策に必要な予算は、可能な限り重点配分を行う。

一般会計

【質問】

安定財源の確保には山手線全線開通が最重要。実現に向けての考えは。

【答 弁】

企業活動を展開する上で山手線は非常に重要。京都府に全線整備に向けた協力を要請し、可能な箇所から着手していく。

【質問】

この間、人口は減少しており、1万人をきった。原因の一つとして不便さ

がある。高校生の通学にかかる費用は保護者の大きな負担となっている。定住策の一環として通学費補助の増額を。

【答 弁】

高校生の通学費補助については、均衡性や負担の公平性などの観点から評価を行い、今後、府内の実施状況等にも留意をする中で調査・検討していきたい。

【質問】

福祉避難所整備検討事業に関して、運営マニュアルの内容は。

【答 弁】

具体的に設備、人員体制、配備物資等について、一定の方向性を定めたものを策定した。

【質問】

各種がん検診の受診率が昨年比べて低下しているが、向上への取り組みは。

【答 弁】

受診率の向上対策として、意識啓発、受診勧奨に取り組んでおり、今後はセット検診や受診申込の簡略化などにより受診者増を図っていきたい。

【質問】

暮らしの資金貸付事業における返済の状況は。

【答 弁】

計画通りの償還となった。

【質問】

立川平岡地区の自転車等放置についての対策は。

【答 弁】

景観条例には指導に限界があり、野積み規制等の方策を検討している。

【質問】

有害鳥獣対策事業において、将来的にはどういうスタンスで進めようとしているのか。

【答 弁】

検討委員会からの提言を受け、旧館は解体、新館については、今後活用を協議していく。

【質問】

地域での猟友会員の増員が必要と考えており、確保に向けて推進していきたい。

【答 弁】

くつわ池山の家活性化・施設利用について検討されたが、経過は。

【答 弁】

検討委員会からの提言を受け、旧館は解体、新館については、今後活用を協議していく。

【答 弁】

検討委員会からの提言を受け、旧館は解体、新館については、今後活用を協議していく。



コミュニティバス



野積み状態の自転車等 (立川平岡地区)

【質問】

障がい者・高齢者向け
町営住宅の今後の計画予
定は。

【答弁】

現在、計画は策定して
いない。

【質問】

中学生ふれあいサポー
ターの活動内容は。

【答弁】

生徒の登校後、概ね4
時間を一人で担当し、生
徒に声掛け、見回り等を
行っている。

【質問】

茶史等編さん事業の進
捗状況等は。

【答弁】

中間発表的な報告会を
開催していきたい。

【質問】

小中学校の夏休みを短
縮したことによる成果の
検証は。

【答弁】

必要性を認識する中
で、年度末の教育課程の
総括等を前提に実施を考
える。保護者等にも意見
を聞いていきたい。



茶史編さん作業

反対

必要な部署には正規職員を
手厚く配置すべきである

(安本 修 議員)

厳しい住民生活を反映して町民税は大幅に減
少し、歳入は前年度比2億4千万円もの減収と
なった。子どもたちの健全な育成や住民の命と
健康にかかわる分野には、正規の職員を手厚く
配置すべきである。高校生の通学費補助の増額、
局地的豪雨災害を教訓にした急傾斜地対策の強
化、福祉バス、コミュニティバスのさらにきめ
細かな対応、お茶の町にふさわしい景観を守る
ための対策等を求める。小中学校の夏休み短縮
については、きちんと検証すべきである。

討論

賛成

2年連続の黒字決算など
安定した財政運営を高く評価する

(田中 修 議員)

持続可能な財政基盤の確立を目指し、既定経
費の節減合理化や、事業の集中と選択により限
られた財源の重点的かつ効果的な運用に努め、
全庁を挙げて、行財政改革の取組みを進められ、
平成23年度決算においては、「歳入歳出差引収支
0」を見事に達成され、「実質単年度収支」につ
いても2年連続の黒字決算を打たれるなど、健
全かつ安定した財政運営を実施されたことに対
して、高く評価する。

国保会計

【質問】

特定健康診査の受診率
向上策は。

【答弁】

特定健診の受診率向上
に向けた取り組みを進め

討論

【反対】 (今西久美子議員)

赤字額を超える収入未
済があり、高すぎる国保
税は住民に重くのしか
かっている。国保税の引
き下げを求める。

【賛成】 (下岡 周之議員)

健康意識の啓発、ジェ
ネリック医薬品希望カー
ドを配布するなど、歳出
抑制に向けた事業運営を
評価する。

介護保険会計

【質問】

デイケアの実績と計画
値との対比は。また、利
用者が多く、利用が困難
な状況の改善は。

【答弁】

計画値を上回ってい
る。また、利用状況を見

極め、施設の状況を把握
するなかで判断してい
きたい。

ているところである。ま
た、町から京都府等の関
係機関に検診を受けない
理由等に関するアンケー
トの実施を促していき
たい。

水道事業会計

人事案件

人事案件・補正予算

【質問】 水道施設耐震診断事業の概要は。
 【答 弁】 配水池、浄水場等の簡易耐震診断を実施し、町水道施設耐震計画として作成した。今後、簡易診断の結果を基に、重要性の高い施設から詳細診断に取り組んでいきたい。

固定資産評価委員の選任



大北 康人 氏
(岩山)



上野 藤一 氏
(南)



安井 要 氏
(湯屋谷)

任期 平成24年10月13日～平成27年10月12日
 【同意 全員賛成】

平成24年度 補正した予算

(千円以下切捨て)

府南部豪雨に伴う災害対策事業として、被災者住宅等再建支援(300万円)、道路・河川等(400万円)、被災農地(400万円)、土地改良(600万円)等災害復旧の他、通学路の安全対策事業(3,000万円)等を中心として補正する。

会計予算名	補正額	補正後の総額	審議結果
一般会計	7,145万円	38億4,267万円	可決 全員賛成
国保会計	120万円	11億3,468万円	可決 全員賛成
介護保険会計(保険事業勘定)	1,023万円	6億9,279万円	可決 全員賛成
奥山田簡水会計	930万円	9,713万円	可決 全員賛成



土砂崩れが起きた町道



増水した禪定寺川(森本橋上流)



今西久美子
議員

豪雨災害の早期復旧を

【答】計画的に進めていく



土砂崩れが起きた宇治川ライン

【質問】

8月の京都南部豪雨による町内の被害状況は、宇治川ラインやくつわ池の復旧の見通しは、くつわ池については、町がインシアチブをとり、復旧計画を作り、府の協力も得ながら、地元生産森林組合と協議の上、復旧を。

【答 弁(総務課長)】

本町の被害状況は、9月7日現在、道路、河川、農地、林道、農作物等で、計106件、住家は、全壊1戸、床下浸水1戸、水道施設1件である。

【答 弁(建設課長)】

宇治川ライン天ヶ瀬ダムまでの間、土砂崩落等

【質問】

今回のような早朝や夜中に、避難勧告や避難指示が出された場合、特に災害時の要援護者が安全に避難できるのかどうか

が非常に重要。区はもとより、班単位での話し合いなど、きめ細かな対応

**要援護者へのきめ細かな対応を
【答】 自主防災会にはたらきかける**

【質問】

自主防災会が、地域ぐるみで迅速に安否確認や避難誘導、救助活動を行っていただけのように、しっかりとほたらきかけていきたい。

【答 弁(総務課長)】

が必要ではないか。

【質問】

介護保険制度では、腰かけ便座、入浴補助用具等の購入や、手すり、段差解消等の住宅改修費用が9割支給されるが、いったん全額を負担しなければならぬ。最初から1割負担で済むよう、委任払いにできないか。

【答 弁(健康長寿課長)】

福祉用具では10万円、住宅改修では20万円を限度額に、申請により費用の9割があとから給付されることとなっている。受領委任払いは、事業者の登録の取り扱いや、事業者、ケアマネジャー等の事務が複雑になるなど、課題がある。利用者へのサービス向上を図る上で、現状の事務を精査するとともに、他市町の事例等をふまえて検討したい。

**介護保険の住宅改修を委任払いに
【答】 他市町の事例等ふまえ、検討したい**



手すりをつけて転倒防止

る。利用者へのサービス向上を図る上で、現状の事務を精査するとともに、他市町の事例等をふまえて検討したい。

くつわ池堤体の復旧は

【答】 京都府と協議を進める

田中 修
議員



【質問】

京都府南部豪雨により、くつわ池が決壊した。「全国森林浴の森100選」に選ばれている末山・くつわ池自然公園内の池の決壊により森林整備事業や公園運営への障害及

び下流への土砂の流出や崩壊等、防災面においても早期に修復が必要。郷之口生産森林組合単独での復旧は到底困難であり、京都府や町の支援が不可欠になる。町としての考えは。

【質問】

下に府道宇治木屋線が通過している。池の堤体が決壊し、府道の安全に大きく影響する。治山対策についてはどのように考えるか。

【答 弁(産業振興課長)】

道路管理者である京都府で判断されるが、現地を調査され、特に異常がなかったと聞いている。

【質問】

河川防災情報で瞬時に見ることができると本町の雨量観測点は、荒木と奥山田の2カ所しかない。ゲリラ的集中豪雨からいち早く住民の安全を確保していくため、雨量計を土砂災害特別警戒区域の上流付近等に設置する必要がある。町の考えは。

【答 弁(総務課長)】

町内の雨量計は京都府が荒木地区と鷲峰山、国土交通省が奥山田の宮村、町が役場と宇治田原消防分署に、合計5カ所設置している。今後、気象庁や京都府と連携しながら検討する。

【答】 気象庁や府と連携し検討する

雨量計の増設を



雨量計 (荒木)



決壊したくつわ池



上林昌三
議員

地域経済の活性化と雇用確保を

【答】 企業誘致に全力で取り組む



稼働する工業団地の企業群

【質問】
本年4月新名神高速道路大津城陽間の凍結が解除され、着工命令が国交省より発表された。この明るいニュースを契機に宇治田原工業団地及び新市街地への企業誘致活動を一層精力的に推し進め

るべきであるが、行政の考えは。
【答 弁(産業振興課長)】
現在、宇治田原工業団地において、69区画55社が、また緑苑坂テクノパークで8区画4社が操業されており、販売区画は完売している。

【質問】
リーマンショックや歴史的円高により企業の収益が著しく落ち込んでおり、町の税収も以前とは低下していると聞いています。税収額について、過去のピーク時と現在の比較は。
【答 弁(産業振興課長)】
本町税収の大きなウエ

新市街地への企業誘致対策について、京都府ものづくり産業集積促進地域指定を受けて、町独自の施策として企業立地促進条例に基づき、固定資産税の助成制度を設け、立地促進に努めている。
企業誘致促進対策として、ネックとなる周辺環境整備については、高速道路着工にあわせ、山手線をはじめ、国・府道のインフラ整備・産業立地を促進する。



企業誘致が待たれる新市街地

イトを占めている法人町民税は、決算数値でみてピーク時の平成9年度約3億3千万円から23年度においては、半減している。今後、本町の自主財源確保対策として、新市街地をはじめとした企業

防災対策のグレードアップを

【答】 地域防災計画の見直しを検討する

垣内 秋弘
議員



【質問】 問題の大小にかかわらず教師間で水平展開して問題解決を図ることが大切である。

先生への定期的な研修会、事例発表会、アンケート

【答】 弁(教育次長) 議員提案の研修会、事例発表会、アンケート調査は極めて有効と考えている。学校現場と緊密に連携して取り組む。

【質問】

8月14日未明の京都南部集中豪雨では大きな災害が発生した。今後予想される大震災もふまえ、耐震対策、備蓄物資の確保、情報伝達の確立、要援護者の避難誘導等々、災害防止のグレードアップは。

【答】 弁(総務課長)

京都南部集中豪雨による被害や、巨大地震による被害想定をふまえ、防災対策の強化は重要な課題である。必要な備蓄品については自主防災訓練の場で周知するとともに、避難ルートは要援護者の避難誘導と併せ検討する。情報伝達もあらゆる手段で住民の皆様にお知らせする。

【質問】 および最近の堤防破壊の原因は浸透崩壊が多いとされるため、堤防等の総点検を実施すべきだと考えるが。

【答】 弁(産業振興課長)

平成24年度はため池診

断で貯水量の大きい南地区の3箇所機能調査を実施し、防災工事が必要な池は対策を講じる。河川管理は府と連携を密に取り組む。

「いじめ問題」の今後の対応は 【答】 教師の気づく力を高める研修を実施する

【質問】

先般は大阪のいじめ問題で波紋を広げたが、いじめはその規模にかかわらず、いつでも、どこでも、誰にでも起こりうる問題である。早期発見が早期対応が重要であるが対応は。

【答】 弁(教育次長)

個別の事案に対してきめ細かく対応するよう指導に当たっている。子どもたちの動向に注意し、異変に対していち早く行動することで学校長とも連携をとっている。

【質問】

旧奥山田小学校の施設利用の計画と進捗及び今後の方向性は。

【答】 地元区と連携を密にし取り組む

旧奥山田小学校の施設利用は

【答】 弁(教育次長)

地域住民のコンセンサスを

【答】 弁(教育次長)

得ることが必須条件であり、明確な方向性が見出せていない。今後も地元区との連携



旧奥山田小学校



新池(南地区)

この度の災害でくつわ池が決壊したが、これを教訓にし、本町にあるため池

対応は。

今後とも地元区との連携

く。



安本 修
議員

新名神の環境対策は

【答】目標値を達成するよう取り組む



環境アセスを国交省に申し入れ

【質問】

新名神の建設にともなう環境がどのように変わるのか、住民からは不安の声が出されている。去る8月30日、環境アセス調査を再度実施するよう、国交省へも申し入れてきた。町としてどのように対策するのか。

【答 弁 (建設課長)】

7月23日と8月8日に

説明会をもった。住民からは騒音や排気ガス等、心配する声が出された。西日本高速道路株式会社として、環境変化がどうなるのか、シミュレーションし、環境保全目標値をクリアするよう対策が示された。町としても取り組みをチェックする。

山手線の計画は

【答】具体的な動きはない

【質問】

新市街地の開発では、山手線の整備はどうするのか。町長の公約の一つであるが、具体的な計画はないのか。また国道307から南北線への右

折レーンが必要ではないのか。

【答 弁 (建設課長)】

山手線は、新名神との関係もあり、まだ具体的に動いていない。右折レーンは整備する。

土砂災害対策をどうするのか

【答】ソフト面に対応する

【質問】

8月13日から14日にかけて局地的な豪雨が本町を襲い、大きな被害をもたらした。急傾斜対策事業も手がつけられていない箇所も多く、今後、土砂災害対策をどのように進めるのか。

【答 弁 (建設課長)】

本町では、土砂災害警

戒及び特別区域として、9地区190箇所が指定されている。急傾斜崩落防止のための防護施設工事や治山事業として工事を進めているが、京都府全体で6千5百箇所以上あり、すべてに工事を実施するのは困難である。そのため、警戒区域を示した防災マップを全家庭

に配り、避難経路の確保等により、防災対策を取り組んでいる。

【質問】

今回の豪雨は、禅定寺地域で多くの被害をもたらした。一部住民も自主避難されており、急傾斜対策事業の実施が必要ではないか。

【答 弁 (建設課長)】

禅定寺地区での事業の取り組みは、個別案件なので、相談の上、関係機関と調整している。



禅定寺地区

災害救済に町独自の制度を

【答】総合的な支援策を検討する

原田周一
議員



のため、独自の制度の策定は。

【答 弁（総務課長）】

今回の被災状況を検証する中で、総合的な支援策を検討していく。

【質問】

先日の京都南部豪雨により、くつわ池の堰堤の決壊、住宅の倒壊など多

くの被害が発生した。

宇治市では、京都府が災害救助法の適用を決めたが、本町は法的な救済

措置がない。災害救助法

適用外のケースでの救済

措置の必要性は。

【答 弁（総務課長）】

災害救助法は、人口に

応じた一定数以上の住居

の滅失がある場合に適用

される。宇治市では災害

救助法や被災者生活再建

支援法が適用され、避難

所・仮設住宅の設置や応

急修理、住居周辺の土石

等の障害物の除去等の支

援が受けられている。本

町では、大きな被害に至

らなかったため、同法の

支援が受けられない。

国府制度のほかに町独

自の総合的な支援策を検

討している。

【質問】

1万住民の安心・安全

スポーツ基本法1年経過したが

【答】生涯スポーツ振興プランを策定した

【質問】

スポーツ基本法は、施

行されて1年が経つが、

本町の取り組みは。

【答 弁（教育課長）】

スポーツ基本法が公布

される以前の平成22年10

月に、有識者9名で構成

する生涯スポーツあり方

検討委員会を設置、平成

24年3月に3年間とする

生涯スポーツ振興プラン

を策定した。内容につい

ては、ホームページを設

けた他、運動実践カレン

ダーの作成、体育協会、

スポーツ団体のあり方、

体育振各支部の活性化やス

ポーツ推進委員会との連

携強化及び指導者の人材

育成など、進めている。

【質問】

スポーツ基本法には、

8つの基本理念がある

が、障がい者スポーツの

取組み及び指導者の養成

は。

【答 弁（教育課長）】

障がい者スポーツにつ

いては、体育館のトイレ

のバリアフリー化を、ま

た卓球バレーの用具の整

備も行っている。

障がい者の指導者養成

については、今後予定す

る地域スポーツ推進委員

会においても議論される

ことと考えている。



土砂災害（禅定寺地区）



卓球バレー



森田 木一
議員

町長の4選出馬は

【答】しかるべき時期に決断する

【質問】

町長は、来年2月8日で3期目の任期が満了となる。4選目は多選との思いがあるが、町長の考えは。

【答 弁（町長）】

我々は4年に一度、選挙により有権者の審判をうけている。選挙で信任を受ければ何期であれ多選とは思っていない。

【質問】

町長の4選出馬を要請するが、現在の心境は。

【答 弁（町長）】

今年度予算の実施に全力を傾注したい。町の経済や観光など、未来を見据えた重要な施策を行わなければならない。町にとって今ほど重大なことはない。多くの住民の皆さんの御意見を真摯に受けとめ、しかるべき時期に私

自身がしっかりとした考え方を構築できれば決断をさせていただきます。

新名神高速道路について

【答】新名神・山手線の同時供用を



新名神計画路線図

【質問】

新名神建設促進のために庁内組織の強化が必要。また、部制を導入してはどうか。

【答 弁（町長）】

現在の職員配置では対応は困難。専任の職員の配置が必要と考えている。部制導入は考えていない。

【質問】

山手線の今後の計画と新名神との関連性は。

【答 弁（建設課長）】

山手線の全線整備は、町単独では困難。府の協力を要請するとともに、新名神を活用し、同時並行的に供用開始できるように鋭意つとめる。

【質問】

府道・町道の整備計画が必要では。

【答 弁（建設課長）】

高速道路完成時には国道、府道、町道の相互に機能する道路ネットワークの準備をしていきたい。



新名神説明会

学校に英検の導入は

【答】現時点では明確にできない

森山高広
議員



【質問】

昨年の9月議会以降、英語教育の現状と変化は。

【答 弁（教育長）】

小学校（5、6年生）では、各学級担任とALTのレベッカさんがペア

を組み、授業を展開。子供たちは外国語活動の時間を非常に楽しみに学習し、ネイティブな発音に慣れ、違和感がほぼなくなる。中学校では、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとす

る態度の育成をめざす授業は着実に実行している。

【質問】

愛知県の飛鳥村（文教厚生常任委員会で視察）は、小学校1年生から英語教育に力を入れ、例えば、5・6年に児童英検を、また7・9年生には英語実用検定を受験。児童英検・英語実用検定に関して本町での現状、考えや導入の予定は。

が4名、準2級が2名、合格した。コミュニケーションの道具として初歩的な英語を使い、外国人たちと楽しく交流することのできる子供の育成等には、英検を受検させることは有効な1つの手段であると考える。導入については現在、小中連携一貫教育のあり方検討会議で、教育課程の編成を審議中のため、現時点では明確にできない。

【答 弁（教育長）】

新学習指導要領では、受検が義務づけられていないため、一部の児童生徒のみが受験し、中学校では、4級が9名、3級

【質問】

現在、英語教育に関するロードマップ（行程表）があるのか。また、予定は。

ロードマップは

【質問】

現在、英語教育に関するロードマップ（行程表）があるのか。また、予定は。

【答 弁（教育長）】

現時点では小中学校と



維中の英語の授業風景

もないが、小中学校9年間を見通した教育過程を編成する際、学校現場からロードマップの作成が必要との声が入ってくるものと想定している。

【答 弁（教育長）】

現時点では小中学校と



英検のポスター

総務産業常任委員会

バイオマスによる
地域づくりについて学ぶ

岡山県真庭市「バイオマスタウン真庭」

総務産業常任委員会は、7月26日から27日にかけてバイオマス事業の先端をいく岡山県真庭市を視察した。宇治田原町は総面積の約8割が森林であり、森林資源の有効活用が大変重要である。議会として十分に知識を深めるため、今回の研修を実施した。

●真庭市役所本庁舎

バイオマスについての現状、バイオマスツアー、歴史等、詳細に説明を受けた。市役所内の冷暖房

は電気を使用しないで、チップやペレットを燃料とするバイオマスボイラー設備においておこなわれている。

●木製チップ入りコンクリート製品の製造

ランデス株式会社では、製材工程で生じる副産物(廃材)をチップ化しコンクリート製品に混ぜた製品の開発、製造販売をしている。工場内で使用しているボイラーは、チップを燃料とするチップ焚きボイラーを使用している。

●真庭バイオマス集積基地

真庭木材事業協同組合が運営しており、素材生産者や山主などにより持ち込まれた間伐材等(買い取り価格3千円/t、5千円/t)の未利用材を製紙原料や燃料として、チップに加工している。樹皮はボイラー用等の燃料になる。

●集成材製造工場

銘建工業株式会社の工場から発生する木屑、カ

加工し20円/kg、30円/kgで販売している。

●まとめ

今回の視察研修は、林業全体の活性化を図る上で、あらゆる産業に関連していくとの思いを強く感じた。

※バイオマスとは動植物などの生物から生まれた再生できる資源のこと。



ランデス株式会社



真庭木材事業協同組合

文教厚生常任委員会

小中一貫教育・健康づくり 先進地の事例を学ぶ

愛知県飛島村(とびしまむら)

文教厚生常任委員会は、7月23日～24日にかけて、小中連携(飛島学園)と、日本一健康長寿の村づくりを掲げている飛島村を視察研修した。

小中一貫教育

飛島村には、小学校一校、中学校一校が歴史を刻んできたが、平成22年1月に、施設一体型小中一貫教育を開始し、同年

4月1日に「飛島学園」を開校した。

児童、生徒の精神的、身体的な発達段階の特性を考慮し、小学校と中学校の9年間を初等部4年(前期教育)小1～小4、中等部3年(中期教育)小5～中1、高等部2年(後期教育)中2～中3)の3段階に区分し、小中学校の9年間を



全員が入れるランチルーム

オープンな教室

見通した系統的、計画的な教育活動を展開されている

た。カリキュラムも学園独自の取り組みを行って、村の子どもは村で育てることが大切との思いが伝わってきた。子どもたちには積極的に世界と交流し、国際的な視野を持たせるため、平成3年から毎年、中学2年生を海外に派遣している。

健康づくり

日本一の健康長寿村づくりについては、豊かな財政に支えられ、「誰もが健康でいきいきと安らかな長寿を築き、皆で支えあう豊かな村づくりを理念に、「いつまでも安心して生活できる総合的な支援体制の構築」が進められている。

また、一次予防事業に力を入れることにより、要介護状態を防ぎ、二次予防事業の対象にならないよう事業実施が欠かせない。県内でも高額な医療費を引き下げることを目的に実施された施策が、今日の飛島村の保健事業を作り上げたことと推察できる。

充実した設備の「すこやかセンター」



トレーニングルーム



温水プール

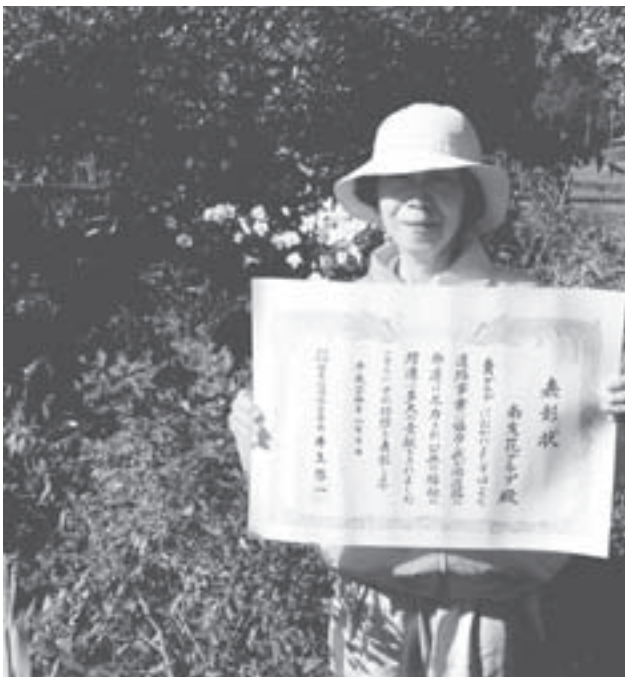
みなみゆうか
南友花グループ代表

いまにし ちづこ
今西 智津子 さん

南友花グループは平成15年4月より、南地区で「ふれあい花壇」を整備され、植栽、除草、水やり、周辺の清掃に取り組まれてきました。この度、日本道路協会から道路の清掃、美化保全、環境整備等のボランティア活動に対し道路功労表彰を受けられました。

Q) どんなことに苦労していますか。

A) 年中きれいな花が見られるように、みんなでがんばっています。夏場の水やり、除草などの管理が大変です。



Q) 困っていることはありませんか。

A) 以前ほどではありませんが、きれいに掃除をしても、空き缶などを捨てていく人や、夏には花火のカス等が散乱していることがあります。心無い人がいると思うと悲しくなります。



功労表彰を町長に報告

Q) いいなと思うことは。

A) お花の好きな人の集まりで、きれいになった道路やお花をみんなで眺めて、共通の思いで満足感を感じています。

Q) 現在、どのように活動されていますか。

A) 現在、南地区の主婦有志14人で活動しています。無理をしたら続かないので、出られる人が出るといった、強制でなくのんびり、ゆっくり活動しています。これらは、長く続けていくコツだと思います。



この場所は、宇治田原の南の玄関口となる府道宇治木屋線沿いで、通行量も多くドライバーの気持ちも和らぐと思います。これからもよろしく願いいたします。(広報編集委員)



消防団総合訓練



運動会 (田原小)



三ノ宮コンサート

今号の表紙

田原祭り。なかなか難しい撮影コンディションの中、みこしの迫力をお伝えしようと望遠レンズで撮影しました。 森山

編集後記

住民の皆様に、より信頼される議会をめざし、全会一致で可決した「議会基本条例」は、来年4月1日より施行される運びとなりました。

今期の議会だよりは、現メンバーでの最終号となります。多くの方々に取材などでお世話になりました、ありがとうございます。

議会広報編集委員が知恵をしぼって編集してまいりましたが、住民の皆様には、どのように受け止めていただいたでしょうか。ご意見をお寄せください。

広報編集委員 上林